

生物学科セミナー & HLS 研究所共催セミナー  
疾患を引き起こす有害コピー数多型推定の  
進化的アプローチ



東北大学大学院 生命科学研究所  
牧野 能士 教授

遺伝子量のバランスが崩れることで発症する疾患が複数報告されている。我々は、進化的なアプローチによりヒトゲノム中に存在する遺伝子量変化に敏感な遺伝子群 (DSG) を大量に推定した。本セミナーでは、DSG がダウン症候群、精神疾患、アルツハイマー病などの疾患に関与している例を紹介する。

12月20日（金）15時00分～17時00分

\*\*講演後に学生懇談会あります！\*\*

場所：国際交流プラザ 多目的ホール

申し込みはこちら→

参加連絡先：[office-ihls@cc.ocha.ac.jp](mailto:office-ihls@cc.ocha.ac.jp)

